

令和4年9月3日

芦屋市企画部市民参画・協働推進室
室長 川口 弥良 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしやNPOセンター
事務局長 橋野 浩美

第15回あしや市民活動フェスタ 未来をつくるたぶん100人会議
あなたのやりたいことコミュニティ・ビジネスプレゼンテーション大会事業報告書

- 1 日時：8月27日(土) 13:30～16:30
- 2 担当：二宮毅行
- 3 参加者：90名…来賓：3名、講師：1名、視聴者：69名(会場参加：31名、オンライン38名)、プレゼンター：11名、メディア：5名、ボランティア：1名、
- 4 講師：梅山晃佑氏(A⁺ワーク創造館 職業訓練事業部 部長)
- 5 目的：芦屋市における地域課題の解決や地域資源の活用などのコミュニティビジネスプランをプレゼンテーションすることで、より多くの地域の方々が知って、理解して、共感していただき、応援・支援に繋げ、「できる」に繋げる。
- 6 内容：

・コミュニティビジネスプチセミナー(講師：梅山氏)	20分
・コミュニティビジネスプレゼンテーション大会	
@7分×8組	80分
・投票と集計及び中学生によるプレゼンテーション	20分
・結果発表と賞状授与	20分
・交流会	15分
- 7 投票結果：投票総数…137票(1人につき2票を投票)
 - ・グランプリ… 獲得ポイント：38票
 中村 真也/花と緑づくり
 - ・準グランプリ…獲得ポイント：27票
 定藤 登紀子(おしゃべりカフェにっち)
 /カフェ併設「コミュニティ保健室」
 - ・第3位…獲得ポイント：21票
 鈴木みき(ドローンエデュ)
 /だれも、置いていかないよ。一緒に活動しよう 芦屋で
 - ・第4位…獲得ポイント：20票
 木山 典子(STEP by STEP)
 /知ってみよう!やってみよう!職人技で街づくり
 - ・第5位…獲得ポイント：16票

岸田 千佳 (がんばるお母さんによりそう会)

／ハンドマッサージによる癒し活動

・第6位…獲得ポイント：5票

長谷 徳昭 (ワールドホープ)

／「ものキフ」で子どもの未来を支援

興津 朋子 (神戸シュタイナーハウス)

／哲楽C a f e ピーチクパーク

小西 直樹／「場」のつくり方を学ぶ教室

8 メッセージ

- ・皆さん、素晴らしいプレゼンテーションでした！頑張ってください！
- ・障がい者へのドローン訓練機会提供は素晴らしい試みですね。芦屋市を花と緑あふれる街に、日本の今後の在り方でもあると思います。
- ・素敵なお発表でした。ありがとうございました。
- ・まちの保健室。身体の相談もできてお話もできて楽しそうです。高齢者だけの保健室にしないでくださいね。みんなの保健室。行きたいです。
- ・お花と緑のまち芦屋。素晴らしい企画かと思います。市政100周年の世界大会まで生きるぞ(笑)
- ・木山さんの職人と地域をつなぐ提案、素晴らしいと思います。新しいまちのイベントとして育ててほしいと思います。岸田さんの健幸のまちづくりの活動をされているのは素晴らしいと思います。さらに定着していくことを期待します。
- ・コミほけが芦屋にあると安心ですね！たくさんのいい話を聞かせていただきありがとうございました！
- ・ドローン就労支援は市、役所、地域の御協力無しでは事業化や継続は難しいと感じます。このプレゼンがきっかけになればと思います。
- ・今回の地域密着、今後の事業性、先進性、将来性の4項目において、ドローンというツールは今の社会において当てはまるものと考えます。事故や犯罪防止にも期待されますね。
- ・他の方々のプレゼンも素晴らしい内容でした。違った価値観は勉強になりました！
- ・ドローンは芦屋が先進の街、子供の未来に繋がり、保健室は高齢者にも優しい街素敵なお取り組みだと思います。頑張ってください！
- ・どれも素晴らしい取り組みだと思います！
- ・街・人に寄り添った素敵なお提案だと思います。頑張ってください
- ・楽しくみんなを巻き込んで芦屋を盛り上げていただければ嬉しいです。
- ・中村さん、行動力が素敵だし、ぜひ実現してほしいなと思いました。
- ・ビジネスという視点で点数の差をつけざるを得ませんでした。課題認識という点ではどのテーマも大事なものを提示されていたと感じました。

- ・ 芦屋の未来が明るくなる企画だと思った。芦屋市は高齢者の街古いイメージ。若い人材育てる事に重点をおくべき。
- ・ 楽しいプレゼンありがとうございました。応援しています。
- ・ 皆さん、お疲れ様でした。とても熱い想いをお聞きし、行動力と前向きな姿勢がすばらしく良い刺激をいただきました。
- ・ 皆さんと同じ思いの方が芦屋市内に広がればいいなと感じています。

9 振り返り

- ・ 5月に開催したCBゼミナールの参加者、及び、これまでの相談事業からCBに関わる相談者から出場者を募った上で、7月にプレゼン対策講座を行い、本大会に向けて内容をブラッシュアップして本番のプレゼンに繋げることができた。
- ・ 共感ポイントの投票は去年の倍となる137票となり、多くの視聴者に発表する場を創出するという目的は得られ、プレゼンターに対して前向きな評価を得ることができた。
- ・ 中学生のプレゼンテーションは、会場の大人の注目を集める内容で大いに会場が盛り上がった。
- ・ メディアが入ったことで相応の緊張感のある効果も得られた。今後、プレゼンターへのプランの実現に向けてフォローをしていく。
- ・ オペレーション上では、プレゼン資料の切替えなど不手際があり、細部の準備不足が反省点となった。

以上



